



芸劇 dance

Von・noズ 演劇の台本を上演するワンダーダンス

原作：安藤 奎『それどころじゃない』

2026. 3.6 (金) — 8 (日)
東京芸術劇場シアターイースト

それどころじゃない

芸術 dance

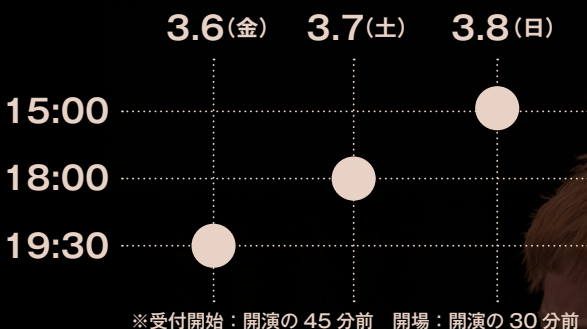
Von・noズ 演劇の台本を上演するワンダードンス 原作：安藤 奎『それどころじゃない』

振付・脚色・出演：Von・noズ（上村有紀・久保佳絵）

ダンスにとって「ドラマ」とは何か ダンスと演劇の境界を蛇行する Von・noズの新作デュオ作品

ダンスユニット Von・no ズが、演劇の上演台本を舞台にのせるプロジェクトの第一弾。踊る、話す、演じる——パフォーマーのアイデンティティそのものが舞台上で交差し、行き違い、ときに置き去りにしながら、作品は少しずつ予想外のかたちへ傾いていく。これはダンスなのか？演劇なのか？その問いすら揺らしながら、境界を蛇行するワンダードンス。

2026.3.6(金) — 3.8(日)



チケット料金 整理番号付き自由席・税込

一般	4,000 円
U-25	3,500 円
高校生以下	1,000 円

※当日券は各料金の500円増し

※車椅子でご来場の方は事前にお問い合わせください

※U-25、高校生以下チケットは当日身分証要提示

※未就学児童入場不可

※開演時刻以降は入場いただけない場合があります

チケット取扱い 一般発売 12月29日(月) 10:00



東京芸術劇場ボックスオフィス

電話窓口 0570-010-296 (休館日を除く 10:00~19:00)

<https://www.geigeki.jp/t/>



シバイエンジン

<https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=1z537ts7>



Photo© 青藤優作

Von・noズ VONNOS

上村有紀と久保佳絵によるコンテンポラリーダンスカンパニー。ダンスは動作による芸術であるという考えのもと、創作活動を行う。抽象化したもの・具体的なものを混在させ、定義を限定しない作品を追求している。国内外で作品の上演を行うほか、近年はコラボレーションも多い。また、世代間交流を目的とした異世代へ向けたダンスワークショップや作品創作を行いながら、ダンスの可能性を探り続けている。

<https://www.vonnos522.com/>

『それどころじゃない』

『それどころじゃない』は、今から5年前に書いた脚本です。私がこれまでに書いたものの中で、唯一、実体験をもとにしています。ある日、家族でイオンモールに行ったとき、車に残っていた父が、首の長い女の霊に憑りつかれました。その霊は父から離れず、家にまでついてきました。そして、首の長い女は、隣の家の風呂場を覗くようになるのです。今回、この脚本がダンス作品になるということで楽しみです。どうなるのでしょうか。首を長くして待ちたいと思います。

安藤 奎 Kei Ando

大分県出身。2016年、劇団アンバサンドを結成。主宰として作・演出・出演を行う。2024年「地上の骨」が第68回岸田國土戯曲賞最終候補に選出。2025年「歩かなくても棒に当たる」で第69回岸田國土戯曲賞を受賞。また、TBS火曜ドラマ「じゃあ、あんたが作ってみよう」の脚本、南海キャンディーズLIVE内舞台「人吸い」の作・演出、エッセイ執筆なども手がける。

お問い合わせ：Von・noズ

von.no.zkh@gmail.com

音響：櫻内憧海、江田健太郎 照明：中山奈美 舞台監督：河内 崇
宣伝美術・制作：林 慶一

主催：VONNOS

提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

製作協力：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場）
「彩芸プロッサム2025」

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

〒171-0021 東京都
豊島区西池袋1-8-1
TEL: 03-5391-2111
＜アクセス＞ JR、東京メトロ、東
武東上線、西武池袋線池袋駅
西口より徒歩2分、池袋駅地下
通路の2b出口で直結しています。

